

法政大学

ダイアナ・コー

法政大学総長



廣瀬克哉前総長の任期満了に伴い、3月31日付でダイアナ・コーが総長に就任した。

コー総長は1960年生まれ、香港出身。1983年香港大学社会科学卒業、1985年同大学院社会学研究科修士課程修了、1987年スタンフォード大学院社会学研究科修士課程修了、1994年同大学院社会学研究科博士課程修了。1999年より法政大学第一教養部専任講師に着任し、2003年に法学部助教授、2005年に同学部教授、2008年からグローバル教養学部教授となり現在に至る。これまでにグローバル教養学部長やグローバル教

育センター長、副学長・常務理事を歴任している。

専門は社会学、ジェンダー・セクシュアリティ研究で、近年では、アジアの状況を踏まえつつ、欧米の概念や理論を批判的に再評価し、アジアに適した理論や概念の構築を目指している。具体的なテーマには、同性婚に関する言説分析や、アジアにおける同性カップルの関係と親族関係の研究がある。法政大学では大学憲章として「自由を生き抜く実践知」を掲げ、実践知を育む教育活動を展開している。これを基盤にししながら、更なる多様化とグローバル化の一体的な推進を通じて、進化していく。

関西大学

高橋 智幸

たかはし ともゆき

関西大学学長



前田裕前学長の任期満了に伴い、2024年10月1日付で社会安全学部・高橋智幸教授が学長に就任。高橋学長は1967年山形県生まれ。1991年東北大学工学部卒業、1993年東北大学大学院工学研究科博士課程後期中途退学。1998年に博士(工学)取得。2010年関西大学社会安全学部教授。2018年社会安全学部長。同年学校法人関西大学理事。2020年関西大学副学長。2024年10月より現職。専門は水災害。学外での主な役職は、文部科学省地震調査研究推進本部専門委員、原子力規制委員会原子炉安全専門審査会及び

核燃料安全専門審査会臨時委員、高槻市都市計画審議会委員など。

関西大学は創立139年の歴史と伝統、52万人に及ぶ校友(卒業生)、14学部・15研究科で学ぶ約3万人の学生を擁する総合大学であり、「学の実化(がくのじつげ)」を学是(理念)として掲げている。多様な理念や価値観を尊重し、おおらかで自由闊達な雰囲気がある。不確実性の高まる社会の中で困難を克服し未来を切り拓こうとする強い意志と、多様性を尊重し新たな価値を創造することができ、力を有する人材を育成している。

共立女子大学

佐藤 雄一

共立女子大学学長



堀啓二前学長の急逝に伴い、2025年1月28日付で佐藤雄一学長が就任した。新学長は1965年福島県生まれ。

1992年千葉大学大学院文学研究科修了、専門は日本文学、日本語教育。主な著書は『文法の時間』（共著）。

共立女子大学は、「社会情勢に応じた歩みを止めない改革」に取り組み、併せて「リーダーシップの共立®️」という教育方針の徹底にも努める。

変化が激しい現代社会において求められるリーダーシップは、一人の強いリーダーが上からメンバーを引っ張りあげるトップダウン型ではなく、グループで共通の目標を設

定・共有し、他者と協働しながら課題を解決していく相互支援型である。

誰もが「Major in Anything, Minor in Leadership.®️」を実感できる大学・短期大学を目指すという「ビジョン2032」を掲げている。各自の専門分野の学びに加えて、相互支援型の「共立リーダーシップ®️」を身につけ、自分らしいリーダーシップを発揮しながら、社会の様々な分野で活躍できる自立した人材を養成する教育機関を目指している。

東海大学

木村 英樹

東海大学学長



松前義昭前学長の任期満了に伴い、2025年4月1日付で木村英樹教授が学長に就任した。任期は2年。

木村新学長は1964年東京都生まれ。東海大学工学部電子工学科卒業、同大学院工学研究科博士課程修了。博士（工学）。1995年より工学部電子工学科助手に着任。現在は工学部機械システム工学科教授。チャレンジセンタ―所長、現代教養センター所長、評価IR室長、広報部長、学長補佐等を歴任するとともに、同大学ソーラーカーチームの監督を務める。

専門は電気電子工学。日本太陽エネルギー学会理事（フェロー）、循環社会推進協議会EV部会長等の任命を受ける。主な著書に『ソーラーカーで未来を走る』（くもん出版）等がある。

東海大学は、2042年の建学100周年に向けて、学園の総合戦略である「学園マスタープラン」を策定した。産学連携及び地域連携はもとより、保護者、卒業生、付属学校及び大病院等、様々なステークホルダーと手を取り合い、よりよい大学へと進化させるべく、大学の改革に取り組む。

渡邊 善則(わたなべ よしのり)

東邦大学学長。'82東邦大学医学部医学科卒業。同医学部外科学講座心臓血管外科学分野教授、医学部長・医学研究科長を経て、'24現職。

稲積 宏誠(いなづみ ひろしげ)

青山学院大学学長。'84早稲田大学大学院理工学研究科博士前期課程修了。工学博士(早稲田大学)。専門分野は情報理論、人工知能、機械学習、日本語教育。

乃美 浩一(のみ こういち)

青山学院大学学務部部长。青山学院大学経済学部卒業。'91青山学院入職。法人総務部相模原学生支援ユニット学務グループ、青山学務部教務課を経て、'21より現職。

西村 直子(にしむら なおこ)

関西大学入試事務局長。'92関西大学文学部卒業後、学校法人関西大学に入職。広報課、入学試験課、総合情報学部事務室、学事局を経て、'25より現職。

吉岡 路(よしおか みち)

立命館大学教学部次長。'07政策研究大学院大学修了。修士(公共経済学)。'16、'23文部

科学省高等教育局(高等教育企画課、参事官(国際担当)付)を経て、'24より現職。

根本 進(ねもとすすむ)

早稲田大学教務部事務部長。'94同大学人間科学部卒業、同年より専任職員。早稲田ポータルオフィスマネージャー、教育企画課長、教務課長等を経て、'23より現職。

中谷 良規(なかつたによしき)

関西学院広報部企画広報課課長。

芝井 敬司(しばいけいじ)

学校法人関西大学理事長。京都大学文学部史学科卒業。同大学大学院文学研究科博士課程後期課程中途退学。関西大学に着任後、文学部長、副学長、学長を経て、'20より現職。

加藤 一平(かとういつぺい)

成城大学図書館事務部長。

立石 文恵(たていしふみえ)

関東学院大学図書館運営課課長補佐。'23より関内デジタル図書室担当。

植村 八潮(うえむらやしお)

専修大学図書館長代行・文学部教授、東京経

済大学院院博士課程修了。博士(コミュニケーション学)。近編著『電子図書館・電子書籍サービス調査報告2024』。

紀平 宏子(きひらひろこ)

国際基督教大学図書館主査。国際基督教大学大学院行政学研究科、慶應義塾大学大学院文学研究科図書館・情報学修了。出版社勤務を経て、'10より現職。

大築 匡(おおつきただし)

全国大学生生活協同組合連合会広報調査部部长。

江口 文陽(えぐちふみお)

学校法人東京農業大学理事長・東京農業大学学長。東京農業大学大学院博士後期課程修了、博士(林学)。日本農学アカデミー理事。(公社)大日本農会副会長。

原 昌登(はらまさと)

成蹊大学法学部教授。'99東北大学法学部卒業。東北大学助手等を経て現職。主著に『ゼロから学ぶ労働法』。

池内 裕美(いけうちひろみ)

関西大学社会学部教授。'00関西学院大学大

学院社会学研究科博士課程後期課程単位取得退学。博士(社会学)。日本学術振興会・特別研究員等を経て'03着任、'11より現職。

島田 恭子(しまだきょうこ)

一般社団法人コロナバランス研究所代表理事。東京大学大学院医学系研究科にて公衆衛生学修士号、保健学博士号取得。精神保健福祉士。

吉田 博(よしだひろし)

札幌学院大学非常勤講師。'79北海道大学法学部卒業。元札幌市職員。主著『公務員のカスハラ対応術』。

村山 司(むらやまつかさ)

東海大学海洋学部教授、東海大学海洋科学博物館館長。東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了、博士(農学)。主な著書『シヤチ学』『イルカと心は通じるか』ほか。

檀 裕也(だんゆうや)

松山大学情報学部教授・情報学部長。筑波大学大学院博士課程数学研究科修了。専門は数理解析、博士(理学)。

小牧 龍太(こまきりゅうた)

共立女子大学文芸学部文芸学科准教授。PhD in Communications(イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校)。立教大学特任准教授を経て'24より現職。

佐藤 宏介(さとうこうすけ)

追手門学院大学理工学部長・教授。'86大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程中退。工学博士。大阪大学副学長・教授を経て、'25より現職。専門はシステム科学。

入江 要(いりえかなめ)

学校法人日本女子大学法人企画部長。'96同志社大学経済学部卒。金融会社を経て、'08日本女子大学入職。学務部、総務部を経て'23より現職。

森 建斗(もりけんとう)

成蹊大学学長室総合企画課担当課長。

石原 雅子(いしはらまさこ)

京都橘大学企画部広報課長。立命館大学大学院経営学研究科博士課程前期課程修了。

鈴木 俊貴(すずきとしたか)

動物言語学者、東京大学先端科学技術研究

センター准教授。東邦大学理学部卒業後、同大学大学院、立教大学大学院に進学。'25英・動物行動研究協会国際賞受賞が決定。

川島 葵(かわしまあおい)

上智大学文学部卒業。東海ラジオアナウンサーを経てフリーに。藤井聡太王位就位式や吉沢亮トークショー司会などで活躍。TBS Podcast『Voicy』番組も持つ。

〈お断り〉本稿は、お書きいただいた資料から、できる限り統一して掲載いたしました。

『私立大学ガバナンス・コード【第2.1版】』
公開のお知らせ

『私立大学ガバナンス・コード』について、有識者による第三者チェック及び令和6年度第3回総会での会員法人の承認を経て、『第2.1版』に改訂しました。

従前の【第2.0版】では、改正私立学
校法において私立大学のガバナンスへ
求められる考え方を整理しました。今
回の【第2.1版】の改訂では、『私立大
学ガバナンス・コード』の遵守状況を
判断するにあたって具体的な指針とな
る項目の整理・拡充を行いました。そ
の際には、私立大学を取り巻く環境変
化を踏まえつつ、会員法人の最新の取
組状況を収集し、コードに反映しまし
た。また、社会から私立大学へ向けら
れる厳しい視線を憂慮し、各会員法人
が自律的にガバナンス状況の点検を行
い、その点検内容を社会に公表するた
めの方法についても追記し、各会員法
人が責任説明を果たす一助となるよう
努めました。

▼『私立大学ガバナンス・コード【第2.1版】』及
び各会員法人のコード遵守状況については、私
大連webサイトよりご覧いただけます。

<https://www.shidaiaren.or.jp/members/governance/>

会長の動き

- **3月4日(火)**
第12回常務理事会、理事補欠選考委員
会に出席
文部科学省大学教育・入試課との打ち
合わせ
- **3月18日(火)**
第11回理事会、第3回総会に出席
- **3月19日(水)**
日本私立大学団体連合会 第130回
役員会・第95回総会に出席
- **4月22日(火)**
第1回常務理事会、第1回理事会に出席

2つのプロジェクトの最終報告・提言を公表

私大連では令和5年度から「文理横断教
育の推進検討プロジェクト」並びに「理
工系分野の充実・推進プロジェクト」を
設置し、検討を行ってきました。両プロ
ジェクトは令和5年度において中間報告
を公表しましたが、この度最終報告・提
言を公表しました。

「文理横断教育の実践と推進
（最終報告）」について

文理横断教育の推進検討プロジェクト
では、大学における文理横断教育を再定義
し、質の高い文理横断教育の必要性を再認
識したうえで、実践に際しての課題を明
らかにし、最終報告を取りまとめました。

https://www.shidaiaren.or.jp/topics_details/id=4424

「成長分野への構造転換を見据え取り組むべき施策―私立大学理工農系分野の量的・質的充実と持続的発展―（提言）」について

理工系分野の充実・推進プロジェクトでは、文部科学省に対する「大学・高専機能強化支援事業」の改善要望や加盟大学に向けた説明会開催に取り組んだほか、2年間の検討成果として提言を取りまとめました。

提言では、「理工農系分野への進学希望者の拡大」「大学での教育研究環境の整備」「育成した人材の出口確保」という3つのフェーズに分けて、合計9つの観点から取り組むべき施策を示しています。



詳細は、私大連Webサイトを
ご覧ください。

https://www.shidaiaren.or.jp/



私大連の概要を
動画で分かりやすく
ご紹介。

私大連
早わかり

YouTubeで
公開中!



こちらで私大連の各種動画
もご覧いただけます。
日本私立大学連盟公式
YouTubeチャンネル



座談会 「ワタシたち大学職員チュウト採用組！」

特集 「大学運営への学生の参加」

小特集 「24時間キャンパスの取り組み」

だいがくのたから 明治大学

大学点描 法政大学

クローズアップ・インタビュー

大櫃 直人さん(株式会社みずほ銀行 エグゼクティブアドバイザー[2025年3月現在])

編集後記

◆「人は言葉でできている」この一文に、あらためて深い感銘を受けた。本特集では、学生の読書離れが進んでいるというイメージに対し、決して一概にそうとは言えない現状が垣間見えた。

読む・読まないという単純な構図では捉えきれない、学生一人ひとり多様な読書との向き合い方、そして大学がその可能性を支えるべく行っているさまざまな取り組みにも新たな発見があった。図書館での学生主体の活動、電子書籍の活用、専門家による推薦図書リストやカリキュラムとの連携といった工夫からは、各大学の本気度が伝わってくる。

読書が「楽しみ」や「癒やし」として学生に受け入れられていることにも希望を抱いた。読むことの楽しさは、ある程度の読書量を通じてこそ育まれる面もあるという。大学が学生にとって読書や言葉と出合う場であり続けることの重要性を今後も発信しつづけていきたい。(広報・情報委員会大学時報分科会委員・慶應義塾広報室長 河越英代)

◆従業員名札の表記が、氏名からイ

ニシャル表記に変わるなど、企業や自治体で急速にカスハラ対策が進んでいることを実感する。一方で、教育現場はまだ十分と言えないのではないだろうか。そこで、今回の小特集では、学校法人のためのカスハラ対策に焦点をあて、4名の識者に寄稿いただいた。

ガイドラインの制定や組織体制の構築など、喫緊の課題を解決する中で、『消費者の正当な権利を守る視点 を忘れてはならない』との識者の指摘を心に留めておかなければならない。苦情と苦言は紙一重ということであろう。

未来の人材を育成する教育現場は、安全で健やかな環境が求められる。そのためにも、カスハラは個人で対応する苦情対応ではなく、組織全体で対応する課題と認識し、消費者・教職員、双方の権利が守られる対策の必要性を感じてもらえたら幸いである。(広報・情報委員会大学時報分科会委員・関西大学総合企画室広報課課長 玉村まゆか)

◆インタビューゲストには、動物言語学者の鈴木俊貴さんをお迎えし、

お話を伺った。世界で初めてシジュウカラが言葉を話していることを明らかにし、「動物言語学」という新たな学問分野を切り拓いた第一人者である。従来、人間固有のものと考えられていた言葉について、動物の言葉がわかる未来に向けて、世界中の研究者と連携しながら日々研究に邁進していた。その姿は、未来への可能性を切り拓く挑戦そのものである。座談会では、大学における機能集約・業務効率化の一環として進められている「学生サービスのワンストップ化」について、各大学の具体的な取り組みや課題、工夫などをお話しいただいた。学生サービスの充実度を高め、学生の利便性向上を目指し、各大学が従来の業務の縦割りを見直し、より円滑な学生支援体制の構築に取り組んでおられた。

一見すると無関係に思える動物言語学と学生サービスのワンストップ化という2つの分野。しかし共通するのは、熱意ある当事者たちが周囲を巻き込み、挑戦と改善を繰り返しながら、理想の未来を実現しようとする前向きな姿勢であった。(日本私立大学連盟事務局・梅村学園出向 吉田匡孝)

一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (118大学 令和7年5月20日現在)

愛知大学
亜細亜大学
青山学院大学
跡見学園女子大学
梅花女子大学
文教大学
筑紫女学院大学
中京大学
中央大学
大東文化大学
獨協大学 }
獨協医科大学 }
姫路獨協大学 }
同志社大学 }
同志社女子大学 }
フェリス女学院大学
福岡大学
福岡女学院大学 }
福岡女学院看護大学 }
学習院大学 }
学習院女子大学 }
白鷗大学
阪南大学
広島女学院大学
広島修道大学
法政大学
実践女子大学
上智大学
城西大学 }
城西国際大学 }
順天堂大学
金沢星稜大学

関西大学
関西学院大学
関東学園大学
関東学院大学
慶應義塾大学
敬和学園大学
神戸女学院大学
皇學館大学
國學院大學
国際武道大学
国際基督教大学
駒澤大学
甲南大学
久留米大学
共立女子大学
京都産業大学
京都精華大学
京都橘大学
九州産業大学
松山大学
松山東雲女子大学
明治大学
明治学院大学
宮城学院女子大学
桃山学院大学
武蔵大学
武蔵野大学
武蔵野美術大学
名古屋学院大学
南山大学
日本大学
日本女子大学

ノートルダム清心女子大学
大阪学院大学
大阪医科薬科大学
大阪女学院大学
大谷大学
追手門学院大学
立教大学
立正大学
立命館大学 }
立命館アジア太平洋大学 }
龍谷大学
流通科学大学
流通経済大学
西武文理大学
聖学院大学
成城大学
聖カタリナ大学
成蹊大学
西南学院大学
聖路加国際大学
聖心女子大学
専修大学 }
石巻専修大学 }
芝浦工業大学
白百合女子大学 }
仙台白百合女子大学 }
昭和女子大学
創価大学
園田学園大学
大正大学
拓殖大学
天理大学

東邦大学
東北学院大学
東北公益文科大学
東海大学
常磐大学
東京女子大学
東京女子医科大学
東京経済大学
東京国際大学
東京農業大学 }
東京情報大学 }
東京歯科大学
東洋大学
東洋英和女学院大学
東洋学園大学
豊田工業大学
津田塾大学
和光大学
早稲田大学
山梨英和大学
四日市大学 }
四日市看護医療大学 }

大学時報

University Current Review
2025/5月号

第74巻422号(通巻435号)
令和7年5月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 森康俊(関西学院大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学会館別館
電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363
<https://www.shidairen.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル3階
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-1
住友不動産虎ノ門タワー20階

松田美佐(中央大学文学部教授)
須藤智徳(法政大学多摩事務課課長)
藤野圭(上智大学ダイバーシティ・サステナビリティ推進室室長)
玉村まゆか(関西大学総合企画室広報課長)
中谷良規(関西学院広報部企画広報課課長)
河越英代(慶應義塾広報室長)
野見山智道(明治大学経営企画部広報課長)
大野百合子(立教学院総長室渉外課課長補佐)
勝屋藍太(立命館大学総合企画部広報課長)
山田健太(専修大学文学部教授)
高橋慈海(大正大学理事長室室長)
大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)
五十嵐俊也(津田塾大学経営企画課課長)
小泉邦人(早稲田大学エクステンションセンター事務局長兼
コンテンツニューイング・エデュケーション推進室課長)
春名貴明(日本私立大学連盟事務局)
加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)
長尾早姫(日本私立大学連盟事務局)
吉田匡孝(日本私立大学連盟事務局)

